

平成28年度決算参考資料

株式会社 佐賀共栄銀行

1. 平成28年度決算サマリー(決算ベース)

(単位:百万円)

	平成27年度 実績	平成28年度 実績	増減
業務粗利益 ①	4,475	4,504	29
うち資金利益	4,343	4,393	50
うち役員利益	111	74	▲ 37
うち国債等債券損益 ②	20	36	16
経費 ③	3,981	3,713	▲ 268
うち人件費	2,329	2,183	▲ 146
うち物件費	1,469	1,343	▲ 126
コア業務純益 ① - ② - ③	473	755	282
一般貸倒引当金繰入額 ④	-	247	247
業務純益	494	543	49
臨時損益	519	42	▲ 477
うち不良債権処理損失額 ⑤	1	48	47
うち貸倒引当金戻入益 ⑥	263	-	▲ 263
うち株式等損益 ⑦	177	95	▲ 82
経常利益	1,013	585	▲ 428
特別損益	▲ 213	▲ 147	66
税引前当期純利益	800	437	▲ 363
法人税等	158	▲ 54	▲ 212
当期純利益	642	492	▲ 150
信用コスト ④ + ⑤ - ⑥	▲ 261	296	557
有価証券関係損益 ② + ⑦	197	131	▲ 66
OHR (%) ③/①	89.0	82.4	▲ 6.6
経常収益	6,003	5,515	▲ 488

コア業務純益 (対前期比 +282百万円)

貸出金利息収入の増加などにより業務粗利益は29百万円増加しました。また、採用抑制による人員の自然減や物件費の削減等の結果、経費が268百万円減少したこと等により、基本的な収益力であるコア業務純益は282百万円増加しました。

※コア業務純益:一般企業の営業利益に相当

経常利益 (対前期比 ▲428百万円)

コア業務純益は増加しましたが、27年度は特殊要因(臨時損益)として発生していた貸倒引当金戻入益がなかったことや、株式等損益が減少したこと等により、経常利益は428百万円の減少となりました。

2. 減収(一般企業の売上高にあたる経常収益が減少)となった要因の説明について

(単位:百万円)

	平成27年度 実績	平成28年度 実績	増減
経常収益 ①+②	6,003	5,515	<u>▲ 488</u>
業務収益 ①	5,270	5,284	14
うち資金運用収益	4,570	4,562	▲ 8
うち役務取引等収益	637	661	24
うちその他業務収益	62	60	▲ 2
臨時収益 ②	733	231	<u>▲ 502</u>
うち貸倒引当金戻入益	263	-	<u>▲ 263</u>
うち株式等売却益	295	123	<u>▲ 172</u>
うちその他臨時収益	174	108	▲ 66

減収となった要因は、27年度に特殊要因(臨時収益)として発生していた貸倒引当金戻入益がなかったこと、及び株式等売却益が減少したことであり、特殊要因(臨時収益)によるものです。

3. 有価証券利息配当金、貸出金利息について

(単位: 百万円)

	平成27年度 実績	平成28年度 実績	増減
資金運用収益 ①	4,570	4,562	▲ 8
うち貸出金利息	3,415	3,517	<u>102</u>
うち有価証券利息配当金	1,144	1,034	<u>▲ 110</u>
資金調達費用 ②	226	168	<u>▲ 58</u>
うち預金利息	195	160	▲ 35
資金利益 ① - ②	4,343	4,393	50

資金利益 (対前期比 +50百万円)

28年2月からの日銀のマイナス金利政策等により有価証券運用利回りが低下しており、有価証券利息配当金は110百万円減少しました。しかし、貸出金利息の増加や資金調達費用の減少に伴い、資金利益は50百万円の増加となりました。

4. 貸出金利息収入について

貸出金利息収入の増加

↳ 102百万円 (3,415百万円 ⇒ 3,517百万円)

平残増加による影響

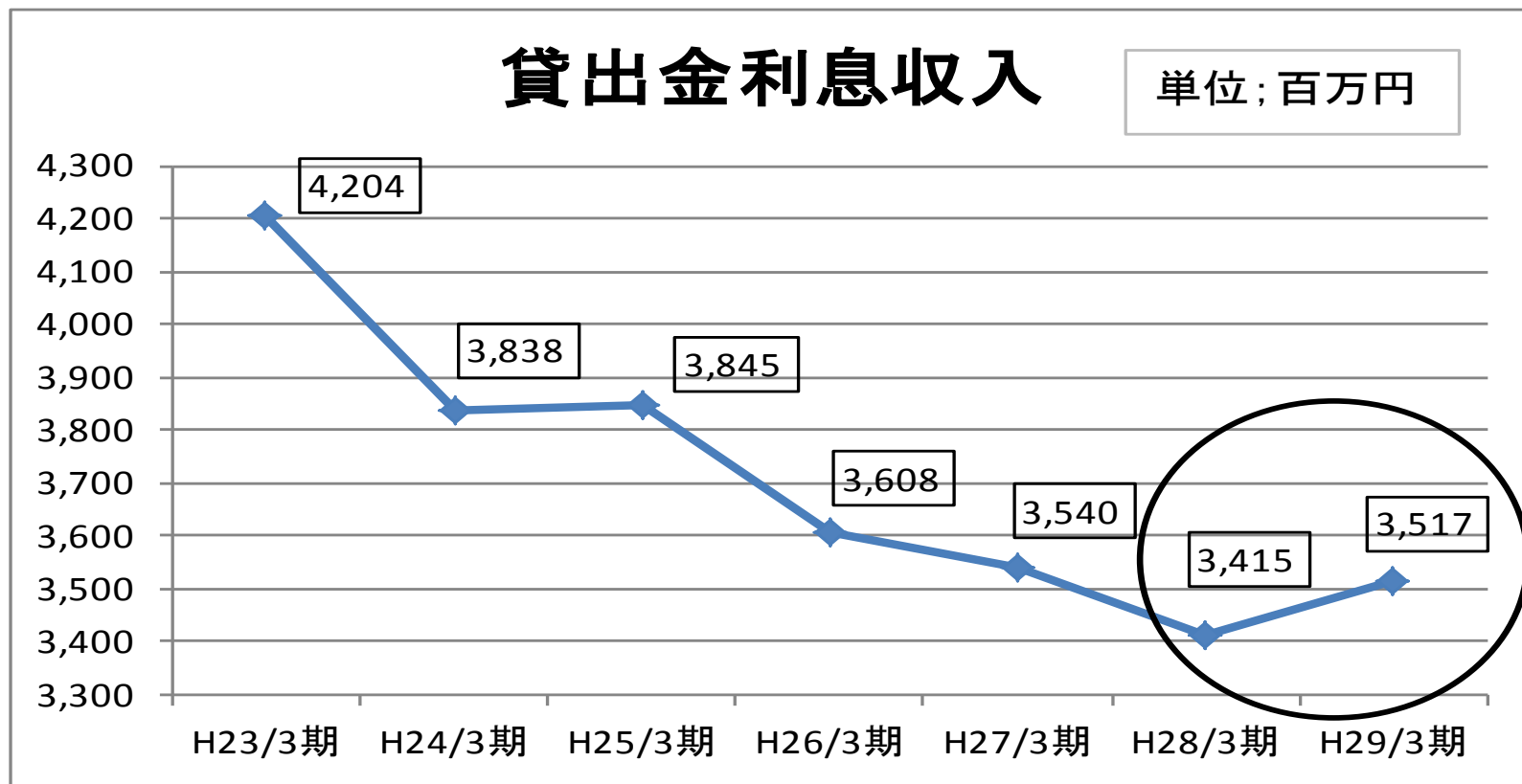
74百万円

利回り上昇による影響

28百万円

貸出金平均残高は38億円の増加(前期は102億円の増加)
 貸出金利回りは0.015%の上昇(前期は0.191%の低下)

貸出金利息収入の推移



減少傾向が続いていた貸出金利息収入が、増加に転じました。

5. 信用コストの推移

(単位:百万円)

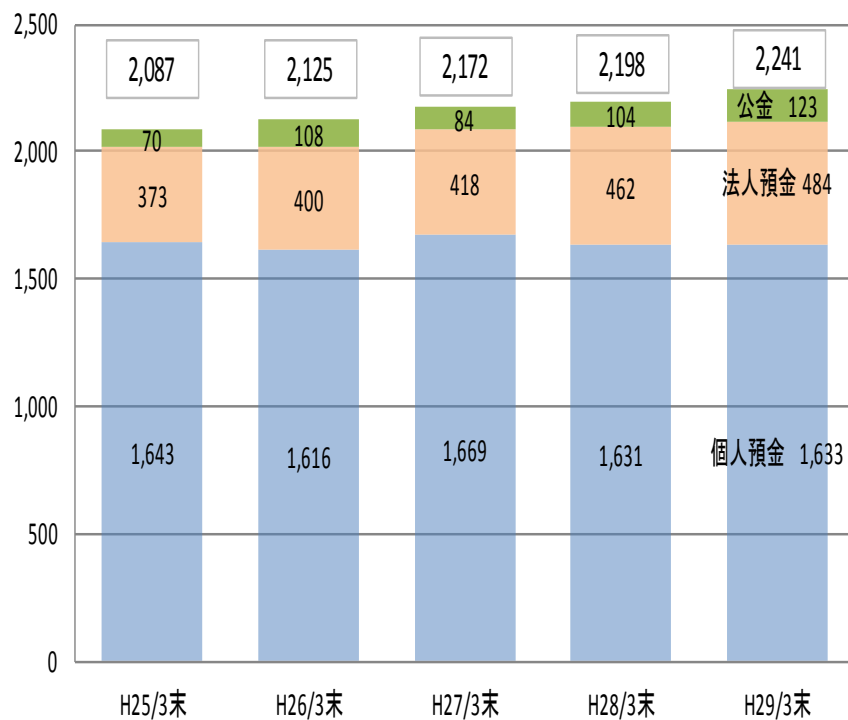
	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績
信用コスト	487	487	317	▲ 261	296
うち一般貸倒引当金	▲ 683	310	32	▲ 196	247
うち個別貸倒引当金	988	176	273	▲ 66	▲ 1
うち売却損等	181	0	11	1	50

5年間の推移をみると、例年3～5億円程度の信用コストが発生していますが、27年度のみ信用コストは戻入となっています。

6. 預金残高および貸出金残高の推移

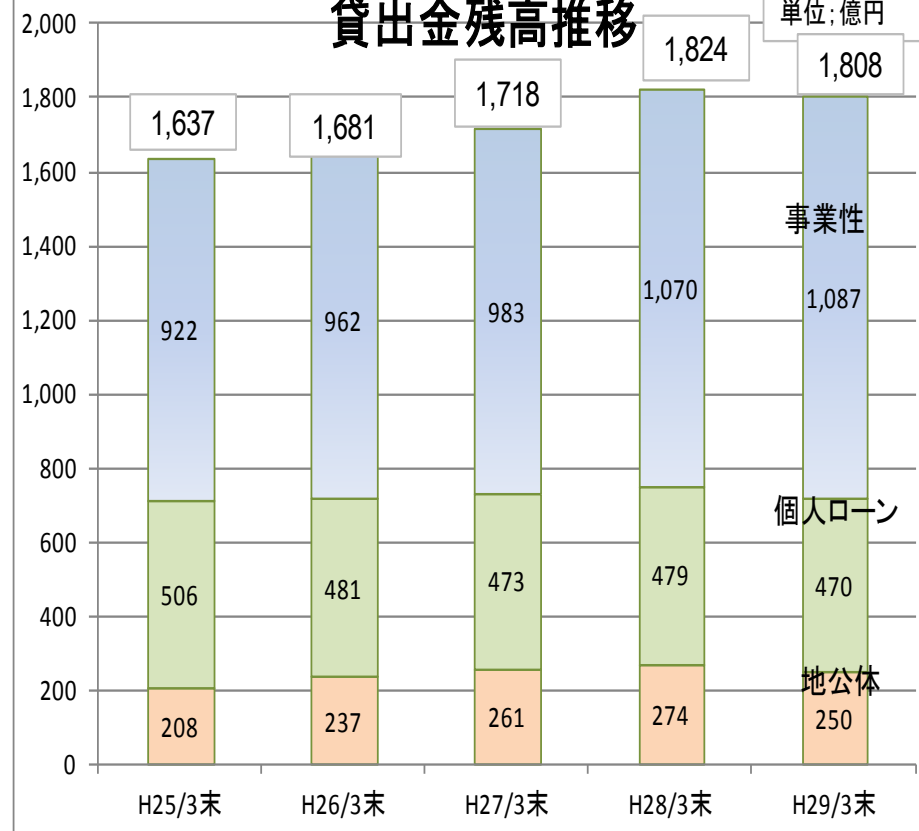
預金残高推移

単位: 億円



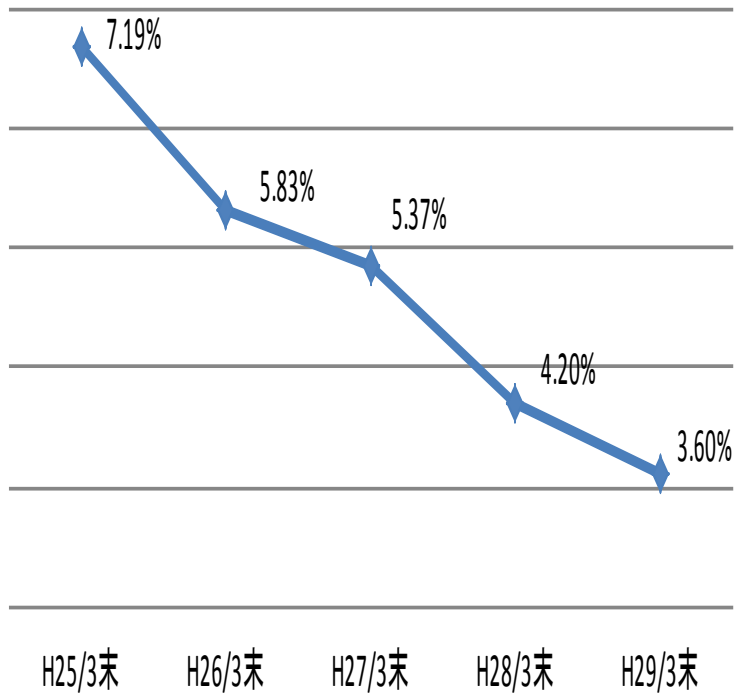
貸出金残高推移

単位: 億円

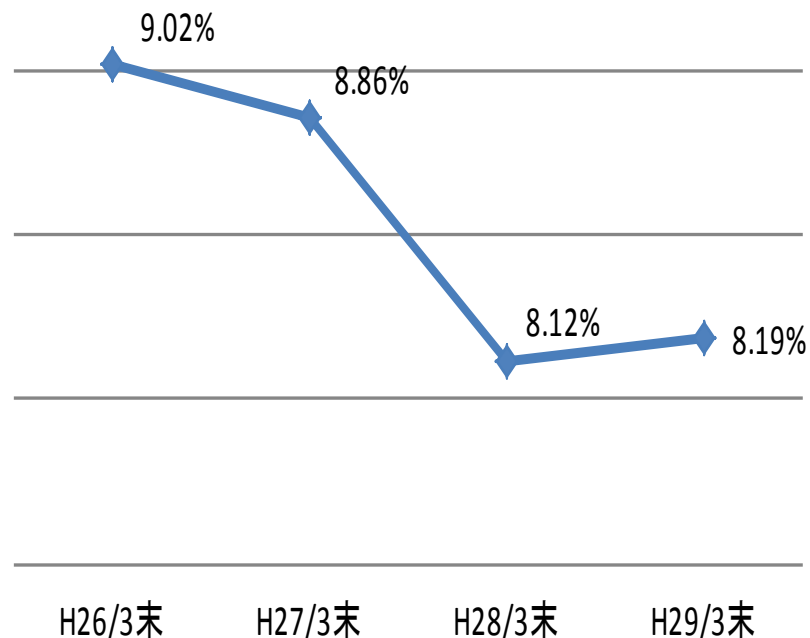


7. 財務の状況(不良債権比率、自己資本比率)

不良債権比率の推移



自己資本比率の推移



8. 配当金の状況

	平成27年度 実績	平成28年度 実績・予想	増減
年間配当	6円00銭	6円00銭	0円00銭
うち中間配当	3円00銭	3円00銭	0円00銭
1株当たり当期純利益	29円31銭	22円48銭	▲ 6円83銭
配当性向	20.4%	26.6%	6.2%

9. 業績予想

(単位:百万円)

	平成28年度 実績	平成29年度 見込み	増減
經常収益	5,515	5,050	▲ 465
經常利益	585	290	▲ 295
当期純利益	492	190	▲ 302

10. 経常収益と経常利益、当期純利益の推移

(単位:百万円)

	経常収益	前期比		経常利益	前期比	
28年度	5,515	▲ 488	減 収	585	▲ 428	減 益
27年度	6,003	51	増 収	1,013	310	増 益
26年度	5,952	▲ 33	減 収	703	127	増 益
25年度	5,985	203	増 収	576	74	増 益
24年度	5,782	▲ 33	減 収	502	▲ 20	減 益
23年度	5,815	▲ 95	減 収	522	▲ 110	減 益

	当期純利益	前期比	
28年度	492	▲ 150	減 益
27年度	642	107	増 益
26年度	535	125	増 益
25年度	410	192	増 益
24年度	218	54	増 益
23年度	164	▲ 71	減 益